

基礎地盤の変形評価に関する研究小委員会の

技術文書審議スケジュール：総合評価以降(括弧内は目安としての予定)

- 2024年2月9日(金) 第3回原子力土木委員会** 総合評価結果を小委員会へ提示(2月16日) ⇨ 対応(委員長名で評価結果, 委員意見, 技術文書審議タスクの議事録と最終段階の評価意見シートを送る)
- 小委員会(2024年3月頃)**：修正対応の実施の後, 技術文書審議担当幹事(中村, 篠田担当幹事)経由で技術文書審議タスクへ報告(技術文書修正版, 修正対応表).
- 技術文書審議タスク(2024年3月頃)**：担当幹事より修正事項を送付後, 1週間以内で修正対応結果の確認(必要に応じ, 最終段階評価・意見記入シートの再作成や, オンラインでタスクを開催し, 修正版の技術文書の妥当性を評価する)⇨その結果を技術文書審議担当幹事経由で委員会へ報告
- 原子力土木委員会(2024年3月頃)**：小委員会の修正対応に対する技術文書審議タスクの評価結果の承認(修正が不十分との評価された場合には再度, 小委員会に修正依頼を行うことがある)
- 外部意見照会[担当(窓口対応)：タスク担当幹事など](2024年3月下旬から4月上旬)**
 - ・照会先：土木学会内の地震工学委員会, 地盤工学委員会, 岩盤力学委員会を対象に実施. 他学協会(例えば, 日本地震学会等)の専門家等を対象とした照会は, 技術文書審議タスクの指摘を踏まえて実施しない.
 - ・ここで, 専門家とは技術文書の対象とする技術に関する知見が十分にあり, 関係学協会では技術基準などの取り纏めの経験を有している研究者や技術者のことである.
- 原子力土木委員会(担当窓口; 2024年4月下旬から5月上旬)**：外部意見照会の結果をまとめ(照会から一ヶ月後), 委員会としての対応基本方針を決定した後, 技術文書審議タスクと小委員会に報告.
- 小委員会(2024年5月)**：対応を実施し, その結果(対応表, 技術文書修正版)を技術文書審議担当幹事(中村, 篠田担当幹事)経由で, 技術文書審議タスクに報告する.
- 技術文書審議タスク(2024年5月)**：その修正対応結果の良否を判断し, 委員会に報告(メール)する.
- 2024年原子力土木委員会(2024年5月)**：その報告を踏まえ最終評価(メール審議)を行う.